

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	[グループホームしおかぜの基本理念1.入居者にとって「自宅に代わる家」を目指します。2.入居者を尊重し、個人の意思や思いやりが最優先される雰囲気づくりと支援を目指します。(すぐに手や口を出さない)3.ひとりひとりの生活のリズムやペースに合わせた支援を行います。(職員本位の都合を押しつけない)4.穏やかな生活を入居者・職員とともに過ごす事で入居者のあらたな能力を発見・発揮できるように適切な援助・支援を行います。5.入居者にとって安全で安心できる生活実現に努めます。6.今までの家庭生活を出来るかぎり継続できるように入居者の通信・交流の援助を行います。7.身体的にも精神的にも拘束しません。8.グループホームに居住していても地域社会の一員であると入居者が感じられるように地域福祉の増進に努めます。9.入居者・職員・家族と一緒に協働し、楽しみながら日々の生活が過ごせるよう支援を行います。]の理念の基運営している。		理念は入居者・入居者家族・来訪者に示すだけでなく、日々職員が目にすることから仕事に対する姿勢の再認識にもなる。其のことから理念は簡潔明瞭、且つ具体的なわかり易い言葉で提示されたい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	上記の理念を額に入れて、グループホーム内の見やすい所に掲げている。職員ひとりひとりに理念を配布し、また説明も行い、理念の実践に向けて取り組んでいる。		現状にあった理念を掲げ、管理者・職員とも日々再認識し、実践に向けて取り組んで頂きたい。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近所のお祭りにはいつも参加している。入居者用に、席も用意してくれている。		運営推進会議にも、自治会や老人会・婦人会などに参加を呼びかけ、地域との交流の場としたい。

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価を見直しの機会と捉え、具体的な改善を行っている。</p>		<p>前回評価後の、改善に向けた取り組みには、理解と活用の姿勢が伺える。今回の提案・提示にも期待する。</p>
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>3カ月に1度(予定)の運営推進会議では、家族や地域の方々の意見をたくさん出してもらえるように促し、サービス向上に努めている。</p>	○	<p>テーマや内容をより充実させ、意義ある運営推進会議としたい。記録は後に日常業務の必要資料として取るのであり、運営推進会議で何を話し、どんな意見が出て、それに対してどう話が発展したかが後で分かるように記録されたい。そのことから言えば議事録の取り方は、一考の余地有り。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>認知症学習会を共同開催し、その折には講師を依頼した。</p>		<p>市町村担当者とは常に連絡を取り合い、密な関係を築き上げてゆかれない。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族会や地域運営推進会議での定期報告をしている。又、家族と顔を合わせた時には、非常勤も含め全職員が報告・相談を行なっている。</p>	○	<p>定期報告・医療生協の便りだけでなく、ホーム独自の便りを発行されたい。ホームの様子や予定に加え、入居者個別に日々の様子を伝えると、ホームと家族の絆もより増すと思う。又個別の連絡は記録を忘れずに残されたい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	常に職員の方から聞く姿勢を示し、かつ虹の箱（意見箱）を設置し、いつでも意見・不満・苦情を出してもらえるようにしている。また、意見等はすぐに解決出来るよう、グループホーム会議や本法人の事業所向上委員会で早期の話し合いを行なっている。家族会、地域運営推進会議でも定期的に意見等を聞くようにしている。		口頭であっても、意見・不満・苦情等は記録に残し、其の後の対応も記録することが望まれる。又、それらは公開しその後の運営に反映させるようにされたい。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	余裕を持って、前主任担当者と新主任担当者の申し送り期間を設けている。		介護職員の異動や離職は、入居者へのダメージも大きい。止むを得ず異動や離職をする場合も、引継ぎの時間を充分に取り、入居者への負担を軽くする努力をお願いしたい。
5.人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修や内部学習会等、積極的な参加を促している。		職員はレベルアップの為に、内部・外部の研修に、積極的に参加されたい。又、運営者は、パートも含め全職員が各種研修に参加出来る様、バックアップ体制を整えられたい。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大阪市グループホームネットワーク、港区グループホームネットワークへの参加。港区の他のグループホームと一緒に近くの公園でランチ（入居者、家族、職員）など。		今後共、各種ネットワークに積極的に参加することにより、職員が視野を広めてより一層のサービス向上に役立てる事を願う。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>仮契約による短期間利用や自宅との行き来、ホームに居る時間や、家族とホームと一緒に過ごす時間を長くしていったりと、徐々に慣れてもらえる環境作りに努めている。</p>		<p>この方針を崩さず、安心してホームに馴染める様、お願いしたい。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>行動が進まないときにはまず声かけを行なって促し、出来る限り本人にしてもらうようにしている。得意分野は本人から教えてもらいながらスタッフと共に行なっている。</p>		<p>年齢が進むに従ってむずかしくもなるが、日々の重ねで、出来る事はしてもらおうという姿勢は、今後も続けてもらいたい。</p>
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>希望、意向はいつでも聞く様にしており、出来る限り実行するように努めている。困難な場合も本人と話し合いを行なっている。</p>		<p>職員は、入居者一人ひとりの個性を見極め、毎日の暮らしを尊重している様に見受けられた。今後も続けて行ってほしい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人・家族・スタッフ・関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを持ち寄り、よりよい介護計画が作成できるよう協同している。</p>		<p>高齢者が多い事から、家族を交えての話し合いの場を持ち、より良い介護計画の作成が出来る様にされたい。家族の確認印も忘れずに。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>必要に応じて随時作成しており、期間に応じた見直しは行っていない。</p>	○	<p>毎月の会議で見直しをしている事から、その内容を個人別にPC入力するなどして、統一された記録として残すことも検討されたい。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>自施設内のデイサービスの利用や、車イスの入居者に於いては、デイサービスのリフト浴の利用を提供している。又、本法人高齢者住宅屋上の家庭菜園へ野菜や果物を収穫に行く際には、入居者・職員の協力を得ている。</p>		<p>入居者が安心して暮らし続けていけるよう、今後共、多様な支援の提供を願う。</p>
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時に、本法人診療所所長の診療を受けている。その際に、受診・往診等の話をし、納得をしてもらっている。</p>		<p>往診（費用は入居者負担）・訪問看護（毎週火曜日）があり、又、本法人診療所所長が認知症専門医である事から、その人にあつた医療支援が行われている。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>かかりつけ医から話があれば、すぐに本人・家族・かかりつけ医と話し合い、全員で方針を共有している。</p>	○	<p>重度化したときの対応を(出来れば)入居者を含めた家族と話し合い、共有した方針は口頭でなく文書化し記録に残す事が求められる。その際には、家族の確認印も必要である。</p>
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者されている方は、目上の方々・人生の大先輩であるという事を常に念頭に置くよう徹底している。個人情報には目につかないところに置いている。本人・家族にはいつでも閲覧してもらえるようにしている。</p>		<p>今後共、プライバシーの確保の徹底には心掛けられたい。離職・退職した職員にも、秘密保持の徹底を図られたい。</p>
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>おおまかな流れはあるが決まりはないので、一人ひとりに合わせた支援が出来ている。</p>		<p>今後共、利用者のペースに添って、一緒に過ごす支援を大切にして行って欲しい。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>何を食べたいかを聞いた上で、入居者と一緒に買物へ行き、調理・盛り付け・配膳を一緒に行なっている。皆で楽しく会話をしながら食事を摂り、できる人には自分で食器の片付け・洗い物も手伝ってもらっている。その日の気分によって部屋で食べたり、時間をずらして食べる入居者もいる。</p>		<p>栄養を考え、野菜を沢山取り入れたメニューは、健康な身体作りに大いに役立っていると思われる。朝食から昼食夕食まで家庭的な献立で、入居者の食べる楽しみは実現されている。職員の努力は大いに褒め称えられるべきである。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日の入浴が基本。毎日声をかけ、入浴を促している。めんどくさくて(?)断られたときは時間をあけたり、違う職員が声をかけたりしている。入浴後は皆さんすっきり「気持ちよかった」の声。1番に入りたい方、16時に入りたい方、最後に入りたい方等、希望に沿えるようにしている。		入浴が楽しい時間となるよう、一人ひとりの意向に添っての入浴支援を、今後共、続けて行って欲しい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	散歩・買物・調理・花・犬・小さい子などなど、好きなこと・好きなものは色々。一人ひとりに合わせた役割・楽しみ事を、支援している。意欲的に調理を手伝ってくれる入居者が多い。		一人ひとりの楽しみ事や役割で、張りのある楽しい毎日を過ごせるよう、支援を続けて行って欲しい。
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	昼・夕食の食材の買出しや、個人の必要物品の買物・散歩・洗濯物干し等、入居者に声をかけ、必ず一緒に行くようにしている。また、同じ人に偏ることのないように、外出した人がわかるよう、日誌にチェック欄を設けている。		外出は、外気に触れ新鮮な空気を吸う事だけでなく、地域の人とも接する事が出来、理解や協力を得ていく上でも重要と考えます。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	自由に生活してもらうために、日中玄関に鍵はかけていない。部屋については、中から施錠する入居者もいる。職員が部屋の鍵をさわることは殆どない。(部屋から出てこられず、何度ノックしても返事がない場合に鍵を開けさせてもらう事はまれにある。)		鍵をかけないケアが実践され、職員にも理解されている証と思う。今後とも、入居者に目を配り、安全面に配慮しながらケアに取り組んで行く事を望む。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指示により、非難場所は2階のベランダとなっている。年2回、避難訓練の実施。内1回は、消防署員が立ち合う。月1回のグループホーム会議でも避難経路の確認を行なっている。災害時緊急連絡網に近所の理事、組合員の方が入ってくれている。	○	災害の発生に備えて、飲料水・食料・簡易トイレ(おむつ)・毛布・応急薬などの備品を準備しておく事を提案する。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立表でそれ以前に食べたものを確認し、バランス良く摂取できるようにしている。食事摂取量は毎回記載し、食事や水分摂取量が少なければ申し送りを行い、記録表にも記載している。状態に応じて食べやすいものを作る等、一人ひとりに合わせた食事提供を行っている。</p>		<p>水分量の不足は認知症を進ませるので、特に、水分確保には心掛けたい。食事内容は、時には管理栄養士に確認してもらい、アドバイスを受けるようにされたい。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間は自然な音・光に配慮し、一般家庭にあるものを揃えており、花を飾ったり、見やすいカレンダーで季節感を採り入れている。</p>		<p>入居者の高齢化に伴い車椅子の人が増え、キッチン・ダイニングは昨年訪問評価時よりもすっきりし、使い易い仕様になっている。一般家庭と変わらぬ、居心地よい空間があって良い。飾りつけは大人の集うリビングであると言う観点から、余り幼稚にならないように。</p>
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>部屋の中は全て本人の私物。入居の際には、使い慣れたものや好みのものを持ってきてもらうよう、事前に伝えている。</p>		<p>各居室、本人の馴染みの物が置かれ、その人らしい部屋作りとなっている。居心地よく過ごせるよう、掃除等にも気を配り、工夫を重ねられたい。</p>

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。